



幼児クラス



散歩に出かけると赤や黄色に染まった葉っぱが地面に落ちています。上を見上げると裸んぼになりそうな木が寒そうにそびえ立っていました。それを見た子どもたちは「もう、ふゆ?」「え～、まだあきじゃない。」などと会話をしながら落ち葉拾いや木の実、草の実拾いを楽しんでいます。北公園に行くと11月初めはまだ色付いていなかったすすかけの葉っぱが黄色に色付き、落ちていました。早速いっぱい集めては花束の様にしたり、自分の手と比べたりして遊び始めました。「あれっ、このはっぱはぼくのとよりちいさいな～。」「これだとおおきいし、あ～も～ちょうどいいのがないよ。」と自分の手と同じ大きさの葉っぱを探していました。すすかけの木の下を探し歩き、やっと見つけたときには満面の笑みを浮かべ「あった～、あきらめないでさがせばみつかるもんだね。」と一言。『もりのてぶくろ』の絵本が大好きな子どもたちが、この季節になると必ず行うあそびになりました。そして、すすかけの実はリースの飾りにするのですが、残念ながら、まだ落ちていませんでした。子どもたちが五感で季節の変化を感じ取り、自主的にあそびへと繋げられるような言葉かけをして見守っていきます。

***** 3歳児ちゅうりっぷクラス *****

だんだんと風が冷たくなってきましたが、子どもたちは寒さに負けず戸外あそびを楽しんでいます。夏の終わり頃は、荒川土手まで歩くことがやっとのちゅうりっぷクラスでしたが、年上の友だちを真似て木登りに挑戦したり、追いかけてたくさん走り回ったりして、体力がついてきたことであそび方もダイナミックになってきました。

最近、ひまわりクラスのマラソンや色おにに入れてもらったり、同年齢の友だちとは、おおかみさんの鬼ごっこをしたりとルールのある集団あそびを少しずつ楽しんでいます。「ぼくがおおかみじゃなきゃだ」「つかまったからもうやりたくない」とルールはわかっている、自分の気持ちを通して納得がいけないという姿もまだまだ見られますが、あそびを通して友だちにも考えや思いがあるということに気づいていけるよう仲立ちをしています。

今月のねらい

- 簡単な決まりを守って、ごっこあそびや集団あそびを楽しむ。
- 手洗い、うがいの習慣を身につける。



***** 4歳児すみれクラス *****

先日、「おおきくなったね会」に向けて劇あそびの話し合いをしました。何をしたいか11人で考え「『ピーまんマン』のえほんがいい」や「『どんぐりむらのぼうしやさん』がいい」としっかり意見を出し合っていました。子どもたちが選んだ絵本を保育者が読み、「これがいい」とみんなで決めたのが『どんぐりむらのぼうしやさん』でした。そして、配役もその場で決めることになりました。でも、やりたい役がAくんとBくんが重なり、Aくんは「じゃんけんできめよう」と、Bくんは「どのこがよいこ（鬼決めする時によく使う歌）にしようよ。じゃんけんはいやだよ。」と役決め時間がかかりましたが、じゃんけんで決めることになりました。じゃんけんをした結果じゃんけんが嫌だと言ったBくんが負けてしまいました。Bくんは悔しい気持ちでみんながいる場所から離れて、部屋の隅に行ってしまいました。それを見ていた周りのお友だちが気づいて「くやしかったよね」と励ましていました。すると、Bくんもみんなの集まっている場所に戻ってきて声をかけてもらうことで、違う役を嫌がらずに決めていました。自分の意見をしっかりと伝えたり、お友だちの気持ちに気付いたり個々の思いを受け止めつつ、楽しい「おおきくなったね会」になるように見守っていきます。

今月のねらい

- 手洗い、うがいの習慣をつける。
- 友だちとイメージを共有して、一緒に遊ぶ楽しさを味わう。
- 友だちとの関わりの中で、自分の考え、感じたことを伝え合う。

